

実施内容-2

program2

トーク & 朗読「センス・オブ・ワンダー」

女優業の他、子育てや女性・環境・自然に関する講演やフォーラム等で活躍している「中嶋朋子」氏による朗読。

開催時間 / PM13:55 ~ 14:25

出演 / 中嶋朋子

内容 / レイチェル・カーソン著「センス・オブ・ワンダー」(抜粋)の朗読



「センス・オブ・ワンダー」

レイチェル・L. カーソン (著), Rachel L. Carson (原著),
上遠 恵子 (翻訳)

化学薬品による環境汚染にいち早く警鐘を鳴らした書として、いまも多くの人々に読み継がれている名著がある。『沈黙の春』だ。その著者レイチェル・カーソンの遺作として、彼女の友人たちによって出版されたのが本書である。

本書で描かれているのは、レイチェルが毎年、夏の数か月を過ごしたメイン州の海岸と森である。その美しい海岸と森を、彼女は彼女の姪の息子である幼いロジャーと探索し、雨を吸い込んだ地衣類の感触を楽しみ、星空を眺め、鳥の声や風の音に耳をすませた。その情景とそれら自然にふれたロジャーの反応を、詩情豊かな筆致でつづっている。鳥の渡りや潮の満ち干、春を待つ固いつぼみが持つ美と神秘、そして、自然が繰り返すリフレインが、いかに私たちを癒してくれるのかを、レイチェルは静かにやさしく語りかけている。

そして、レイチェルが最も伝えたかったのは、すべての子どもが生まれながらに持っている「センス・オブ・ワンダー」。つまり「神秘さや不思議さに目を見はる感性」を、いつまでも失わないでほしいという願いだった。そのために必要なことは、「わたしたちが住んでいる世界のよこび、感激、神秘などを子どもといっしょに再発見し、感動を分かち合ってくれる大人が、すくなくともひとり、そばにいる」ことだという。本文中に挿入されているメイン州の海辺、森、植物などをとらえた写真も美しい。『沈黙の春』と同様、読者の魂を揺さぶらざるにはおかない1冊。

PROFILE



生年月日: 1971年6月5日

出身地: 東京都

テレビドラマ「北の国から」の蛍役で一躍有名に。テレビ・映画・舞台などで幅広く活躍し、受賞歴も多数。現在は一児の母でもある。

子育てや女性・環境・自然に関する講演やフォーラム等にも精力的に活動している。